



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社 テスク

上場取引所 名

コード番号 4349 URL <https://www.kktisc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梅田 源

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 塚本 浩介

TEL 052-222-1000

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	575	3.5	78	0.5	82	4.7	56	1.9
2023年3月期第1四半期	555	18.5	78	600.1	78	682.3	57	2.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	183.28	
2023年3月期第1四半期	186.77	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,829	1,570	41.0
2023年3月期	3,863	1,525	39.5

(参考)自己資本 2024年3月期第1四半期 1,570百万円 2023年3月期 1,525百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		60.00	60.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,300	8.3	160	4.4	155	4.2	105	2.6	343.01
通期	2,500	4.9	295	3.1	290	4.7	200	4.2	653.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	350,000 株	2023年3月期	350,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	43,890 株	2023年3月期	43,890 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	306,110 株	2023年3月期1Q	306,110 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 重要な後発事象に記載のとおり、当社は当第2四半期決算より連結決算に移行する予定であります。連結業績予想については、あらためてお知らせする予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行されたことに伴い、経済活動は更なる回復に向かいましたが、世界的な金利上昇や円安影響による原材料価格の上昇など、依然として景気の先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要顧客である流通業界においても、上記の影響による仕入価格や電気代の高騰、キャッシュレス化の進行に伴う決済手数料の増加などにより、引き続き厳しい事業環境に置かれていらっしゃいます。このような事業環境を鑑みると、デジタル変革に対する投資意欲の一時的低下が懸念され、当社としても先の見通しに警戒感を持つべき情勢と判断しております。

また、当社が属する情報サービス業界は、デジタル変革に対する投資需要が継続している一方で、技術力・マネジメント力のあるエンジニア人材の確保と育成が引き続き重要な課題となっており、当社においても就業環境の整備や従業員への教育・育成に力を注いでおります。

このような状況下、当社は、主力オリジナルパッケージソフトウェア開発案件の堅調な受注獲得と、クラウドサービスや保守サポートなどの定常収入案件増加による売上の安定確保ができたことから、概ね通期計画のとおりにより事業を進めることができました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は5億75百万円(前年同期比103.5%)、営業利益は78百万円(前年同期比99.5%)、経常利益は82百万円(前年同期比104.7%)、四半期純利益は56百万円(前年同期比98.1%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて2百万円減少し、15億61百万円となりました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が29百万円、商品及び製品が6百万円、仕掛品が32百万円増加したものの、現金及び預金が69百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて32百万円減少し、22億68百万円となりました。これは主に投資有価証券が11百万円増加したものの、建物及び構築物が10百万円、その他の有形固定資産が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べ34百万円減少し、38億29百万円となりました。

#### ②負債

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて55百万円減少し、5億18百万円となりました。これは主に前受金及び契約負債が14百万円、その他の流動負債が64百万円増加したものの、買掛金が92百万円、未払法人税等が27百万円、賞与引当金が15百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて24百万円減少し、17億39百万円となりました。これは主に長期借入金が15百万円、リース債務が9百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ79百万円減少し、22億58百万円となりました。

#### ③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ45百万円増加し、15億70百万円となりました。これは主に利益剰余金が37百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日の決算短信で発表しました、第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,109,435	1,039,536
受取手形、売掛金及び契約資産	300,174	330,169
商品及び製品	243	7,200
仕掛品	67,640	100,115
その他	85,881	84,007
流動資産合計	1,563,375	1,561,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,151,385	1,140,423
土地	461,491	461,491
その他(純額)	330,954	305,838
有形固定資産合計	1,943,831	1,907,752
無形固定資産	68,776	56,884
投資その他の資産		
投資有価証券	110,925	122,538
その他	176,582	180,918
投資その他の資産合計	287,507	303,457
固定資産合計	2,300,115	2,268,093
資産合計	3,863,490	3,829,122
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	168,644	75,661
1年内返済予定の長期借入金	63,360	63,360
未払法人税等	69,007	41,418
前受金及び契約負債	54,862	69,238
賞与引当金	60,700	45,000
受注損失引当金	2,496	4,247
その他	155,761	219,995
流動負債合計	574,832	518,920
固定負債		
リース債務	57,823	48,753
長期借入金	1,678,240	1,662,400
その他	27,314	28,194
固定負債合計	1,763,377	1,739,348
負債合計	2,338,209	2,258,269

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,000	302,000
資本剰余金	106,146	106,146
利益剰余金	1,200,681	1,238,417
自己株式	△124,532	△124,532
株主資本合計	1,484,295	1,522,031
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,985	48,821
評価・換算差額等合計	40,985	48,821
純資産合計	1,525,280	1,570,852
負債純資産合計	3,863,490	3,829,122

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	555,836	575,122
売上原価	327,297	361,266
売上総利益	228,539	213,856
販売費及び一般管理費	149,801	135,531
営業利益	78,737	78,325
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1,540	1,672
助成金収入	—	4,881
その他	1,808	560
営業外収益合計	3,350	7,115
営業外費用		
支払利息	3,197	2,804
営業外費用合計	3,197	2,804
経常利益	78,889	82,635
税引前四半期純利益	78,889	82,635
法人税、住民税及び事業税	33,779	38,309
法人税等調整額	△12,062	△11,777
法人税等合計	21,716	26,532
四半期純利益	57,172	56,102

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(企業結合)

当社は、2023年4月6日開催の取締役会において、株式会社サンبرانソフトの全株式を取得して子会社化することを決議し、2023年7月3日付で株式会社サンبرانソフトの全株式を取得し、子会社化いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社サンبرانソフト

事業の内容：ソフトウェア開発

② 企業結合を行った主な理由

当社は、自社開発の業務パッケージソフトウェアである「CHAINS Z」及び「GROWBS III」を中核に据えた各種ITサービスの提供を主な事業内容としております。

この度、当社グループに参画する株式会社サンبرانソフト（以下「サンبرانソフト」という）も、当社と同様に、自社開発の業務パッケージソフトウェア（輸出入在庫販売管理システム）の開発・カスタマイズ・販売・保守・メンテナンスを手がけています。当社のソフトウェア開発事業を伸長させてきた経験とノウハウを活かすことで、更なる業容拡大ができると考え、サンبرانソフトの全株式取得を行い、子会社化することといたしました。

当社グループは、サンبرانソフトの参画により、新たな顧客層を獲得することができ、また既存顧客へのサービス提供の幅を広げることができ、より価値のあるITサービスを提供する体制を整えることにより、更なる企業価値の向上を図ってまいります。

③ 企業結合日

2023年7月3日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率 100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とする株式の取得により、サンبرانソフトの議決権を100%取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	350,000千円
取得原価		350,000

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンスに係る費用等 14,200千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。



(自己株式の取得)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第38条の規定に基づき自己株式の取得に係る事項を決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した資本政策遂行及び資本効率の向上を図るため

(2) 自己株式の取得に係る事項の内容

- ① 取得対象株式の種類 当社普通株式
- ② 取得する株式の総数 35,000株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合11.43%)
- ③ 株式の取得価額の総額 140,000千円(上限)
- ④ 取得日 2023年8月14日(予定)
- ⑤ 取得方法 名古屋証券取引所の自己株式立会外買付取引(N-NET3)による買付け